

助成対象活動報告シート

助成メニュー： トライアル活動助成

団体名： 有松まちづくりの会

1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

11 回目を迎えた有松福よせ雛さんぽ道。学生や園児、地域の方々の作品が溢れました。

① 5/26,7/22 桜花学園で福よせ雛製作。

② 11/25 至学館大学で福よせ雛製作。

③ 12月上旬より、近隣幼稚園、保育園、こども園などに塗り絵のお願い。出来上がりを待って展示用に加工。

④ 1月下旬より順次、作品の点検、東海道への設置。

⑤ マップや趣旨説明看板の内容精査。印刷などの手配。

⑥ マップの各所への配布、配架。看板等設置。

⑦ イベントの実施 ・福よせ雛おさんぽ会(⑦-1)・おこしもんって何?講座(⑦-2)

⑧ 展示物の見回り、管理。

①



②



④



⑥



⑦-1

⑦-2

2 活動の成果および目標達成度合い

本来でしたら人出の減る寒い時期、会期中は有松に多くの方を呼び込むことが出来ました。11 回目を迎えた福よせ雛のイベントは有松のまちに定着して、毎年楽しみに出かけてくださっている方、有松の地域の方々にも楽しんでいただいていると実感しています。新たに至学館大学の学生さんとコラボし、緑区フェスタやかぞくのとまり木(幼児教室)等出前 PR の場で塗り絵をお願いして来訪を促すなど、関係人口の増加にも取り組みました。また、展示場所も東海道に加え小路を活用し、フォトスポットを増やすこともできました。趣旨説明パネルも大小合わせ 10 枚ほど展示、英語表記もして、多くの方にただ奇抜なだけではない福よせ雛の存在についてお伝え出来たのではないかと思います。

3 活動により見えた課題

回数を重ねてきた分、実行委員の高齢化、世代交代を強く感じた今回でした。また、実行委員に地域の役目を重複して担っている者が多く、皆、多用で 1 回の活動の参加者は少数のことが多くありました。実行委員の増強、学生ボランティアの募集などを検討しているところです。

また今回、特に目指した趣旨説明については、どの程度理解していただけたかは、わかりづらいので、講座や福よせ雛おさんぽ会といった直接お声がけのできる場では必ず説明をするなど、コツコツでも着実に続けていきたいと思っています。また、外国語の種類を増やしていくことも必要だと感じています。

基本的には屋外展示ですので、風雨などの気候条件により、会期中にも手直しが必要であるところが結構あり、より条件の良い展示場所の確保にも努めたいと思います。

有松に展示されている雛を見て、提供を申し出てくださる方も少なくないのですが、大型の人形や舞台などは展示できず、処分するしかない場合もありましたので、提供者の方にもその旨をきちんと伝達すべきと反省しきりでした。(台座をごみとして処分しました)

4 今後の活動等の展望

楽しみにして下さっている方が、見るほうも作るほうもたくさんいらっしゃるので、今後も続けていきたいと思っています。(6 月には桜花学園大学の学生さんの製作が決まっています)

また、外国人の方も益々増えてきましたので、多言語化を進めていきたいと思っています。マップなども AI を活用するなどして多言語化したいものです。

イベントの会期や詳細内容を伝えるためにインスタで意欲的に発信してくれている近所の方に、助成項目があるとありがたく思いました。

来訪者が展示に参加できるよう、当日参加の取り組みを企画したいと思っています。

ふくよせ市の開催時期など早期から全体計画を立てる必要性を感じました。

- ※ 「令和 7 年度 地域まちづくり支援制度 活動助成募集要項 成長支援・実践活動助成」の P.5「概要・趣旨」および P.14 の「メニュー別視点」を踏まえてご記入ください。
- ※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2 ページを超えないように作成してください。
- ※ 用紙の大きさ日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。